

光雲

平成二十五年  
初夏

只管（ひきこも）ただただ務める（むめる）

新しい年度が始まり、新しい気持ちで生活を  
迎えられた方も多いかと思います。お寺も桜や  
様々な花が咲き乱れ希望に満ち溢れています。

さて、曹洞宗の坐禅は只管打坐(しかんたざ)をもつぱらとする坐禅です。只管とはただただの意味で、目的を考えずにただただ坐禅をします。

「精進」という言葉がありますが、お釈迦様はお経の中で「精進とはポタポタと垂れる水滴が流れつづけて石に穴を開ける様なものだ」と言われております。また、日本は大昔から自然と共に生きてきた国です。特に木材を生活の中で多く使つてきました。古い寺社仏閣はもちろんのこと、木のタンスや茶道具など多くの木製品があり、何十年、何百年たつた現在も実用されています。



裏山の銀龍草

住職  
合掌

うか？現在はプラスチック製品などが多く、一つの物を長く使うことが少なくなつてきているように思います。私達の体も同様に、こまめに体を動かして日々を務めていく。そして毎日を笑顔で過ごすことが出来れば、自然と穏やかな顔になつていくのではないでしようか？

は、使えば使うほどに輝いてくる点ではないかと思います。しかも、輝かせようとしてではなく、ただただ使つていくうちに、気がついたら磨かれて輝くようになつているのではないでしょうか？現在はプラスチック製品などが多く、一つの物を長く使うことが少なくなつてきているように思います。

十六時  
十七時頃

〔年間行事予定〕



お寺で一緒に坐禅をしませんか？

毎月第四土曜日（五月二十五日、六月二十二日、七月二十七日）

十二月未	九月	八月	七月	五月	三月	二月	一月
二月末	月二十一日	月二十日	月前半	月八日	月十七日	月十五日	月一～三日
三十日	日十五	日十	日四	日（月）水	日（金）	日（金）	・・・・・大般若祈祷会
・	・	・	・	・	・	・	涅槃会
・	・	・	・	・	・	・	春彼岸
・	・	・	・	・	・	・	お地蔵供養
歳末	千秋	彼岸	棚経	お盆	心経	行	事
行事	卷	心	経	盆	彼	岸	

## 【坐禅会のご案内】